（1） 昭和44年4月15日

THE KOHO TAMAKAWA

たまがわ広報

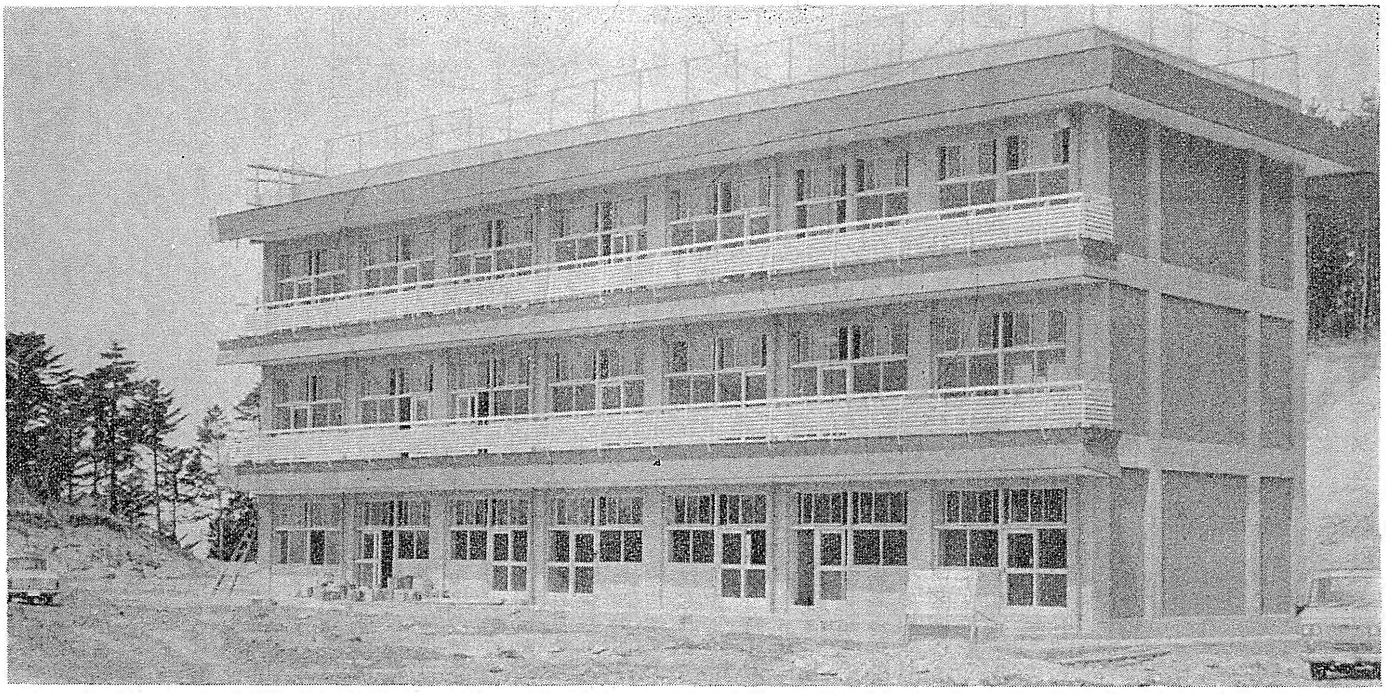
第41号

村のようす
（44．3月1日現在）

世帯数	1,432戸
人口	7,583人
男	3,669人
女	3,914人
面積	46.62㎢

編集と発行
福島県石川郡玉川村役場
大越力夫
でんわ 川辺 1・39・124

印刷所
須賀川市加治町69
有限会社 円谷印刷



玉川第一小第1期工事竣工

玉川第一小学校新築工事第1期分が完成しました。本工事は、郡山市大木戸建設株式会社が請負（主体工事 3,160万円、給排水電気暖房工事 526万円）昭和43年9月3日起工、昭和44年3月31日竣工した。

校舎は鉄筋コンクリート3階で普通教室6、特別教室3、その他で総面積 1,118平方米で、第2期工事も本年度着工、年度末までには完成の予定です。

村のあいことば

一、総親和総努力協力一致、村発展に努力致しましょう。
一、総合農業の確立に努力いたしましょう。
一、毎月十五日（午後）若い農業者の集いに必ず参加いたしましょう。
一、定期健康診断、予防接種を必ず受けましょう。

四月の行事予定表

総務課
中旬 納税組合長会議
下旬 区長会議
〃 消防幹部会

住民課
一一日 衛生事業打合会
一七～一八日 生ワクチン投与
二五日 四辻部落健康相談（区長宅）
下旬 戸籍事務協議会石川方部会（支所）
下旬 保健婦補助員辞令交付
下旬 国保運営委員辞令交付

事業課
七～一二日 国土調査 吉川辺縦覧
三～二五日 昭和四三年度宅地国土調査県検査
一六日 失対事業監査
一〇～二〇日 玉川第一小学校第二期工事準備
県単補助土地改良事業準備

企画室
一〇日 曲久保開拓打合会
集団桑園打合会
一五日 若い農業者の集い代表者会議
二一日 農業委員会議

会計室
下旬 月例監査

議会事務局
一五日 第二回臨時会

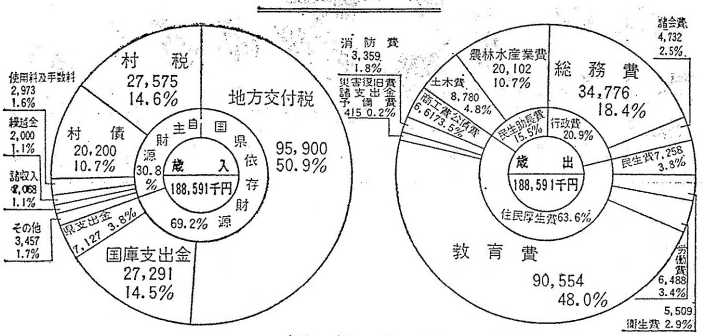
教育教員会

公民館
一日 転退職教職員送別会
四日 小中学校入学式
七日 新任教職員歓迎会

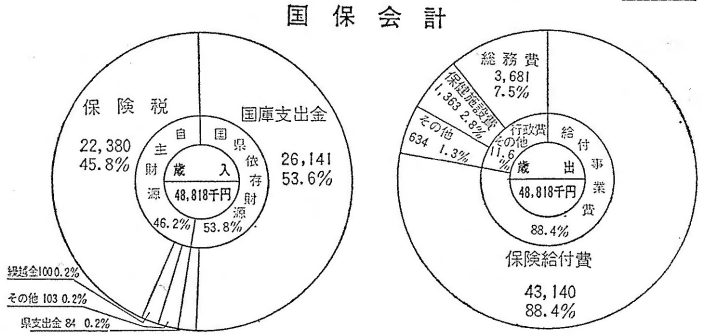
今年のわが村の予算
教育費の大巾増額

昭和四十四年度玉川村の一般会計予算並びに国民健康保険特別会計予算は去る三月十五日の第一回定例村議会に於て慎重審議の結果次表のとおり可決決定されました。総額に於て、前年対比二千四十九万円の増、特に歳入で地方交付税国庫支出金二千六百六十二万五千円の増、歳出は教育費（学校統合費）の大巾な支出となりました。

一般会計



国保会計



44年度国土調査事業
地籍調査について

国土調査は昭和二十六年六月一日法律第一八〇号を以って成立され、国土の開発及び保全並びにその利用の高度化に資するとともにあわせて地籍の明確化を図るため、国土の実態を科学的且つ総合的に調査することを目的として実施されています。本村においても国土調査の地籍調査事業が昭和四十年度から実施していることは御承知のことと存じます。

地籍調査事業とは一筆の土地について、その所有者、地番及び地目の調査並びに境界及び地積に関する測量を行いその結果を地図及び簿冊に作成することをいいます。これ等の土地の記載が現地と合致された発録が正確に行なわれ登記に公信力的性能が生じますと初めて公示制度の目的が果されまして土地の権利の保護、土地の利用取引の完全、その他負担の公平化が期せられることになります。

本事業は二年継続事業であって初年度は一筆調査と毎筆の測量を行い、次年度については一筆毎の面積測定と地籍図簿の作成となりますから御含みおき願います。尚四十四年度一筆調査実施地域の土地所有者は七月までに境界の下刈りを実施して下さるよう特に御願いします。

44年度地籍調査事業実施予定地区

(一)一筆調査から毎筆の測量までの地域

竜崎区

糀屋、前谷地、舘ケ崎下川田、島廻、板橋、五反畑、小川原、上川田、畑合、岡谷地、四斗蒔、神ノ前、八斗蒔金堀、上代、上境沢、下境沢、上古辺田、下古辺田、原作田、松ケ作、古川田、馬場作田滝山、志駄、前林、和久、東後山、中後山、大日向、蕨岡の一部

岩法寺区

下竹ノ内、上代、高野和久、道劔、柳作、蕨岡の一部

(二)面積測定及び地籍図簿作成地域

小高区

古川田、南畷、北畷、中畷、稲荷畷、六斗蒔中村前、向久保、丑久保、西屋敷、御城、東耕地、池ノ入、三斗蒔会興志、戸ノ内、掛金平ケ谷地

北須釜区

鍋田、懸金沢、兎田

人事異動

玉川村役場

新採用

内山敏子 須釜児童館
大橋美紀子 〃

退職

迎　秀 須釜児童館

村立小中学校

氏名	新任校	旧任校
小針ミサオ	川辺小	中
小林和恵	〃	泉
本郷孝夫	〃	中谷一小
紺野貢	玉川一小	石川小
大河内福子	〃	相馬桜丘小
加藤仁子	〃	田村芦沢小
小針孝一	〃	大原滝ノ平分校
小泉郁子	〃	須釜小
鈴木英夫	〃	蓬田小
二瓶保房	須釜小	石川小
須釜ハル子	〃	蓬田小
熊谷登子	〃	石川中
原田伊佐夫	〃	中谷一小
本村洋子	〃	耶麻郡奥川小
布川順子	〃	山白石中
渡辺政彦	〃	東白内川中
武藤泰一	〃	石川中
鈴木詔子	〃	中谷中
小池修	〃	県北中
伊藤悦子	〃	石川中
松本真	〃	須釜中
高田洋子	〃	会津朝日中
近藤敏	〃	東白那倉中
白岩昌門	〃	小平中
加藤ハルヨ	〃	川辺小
星	〃	長沼小
添田義一	〃	石川小
古川睦子	〃	石川小
吉沢久美子	〃	玉川一小
桑原和夫	〃	中
浅川小	〃	須釜小
野木沢小	〃	南会朝日小
小野寛次郎	〃	郡山中野小
大竹豊紀	〃	小平小
石沢一枝	〃	会津
森喜和子	〃	北会津
須釜小	〃	玉川一小
蓬田小	〃	石川小
藤田慧子	〃	竹貫中
小針孝一	〃	大信中
添田勝夫	〃	泉中
江田健一	〃	川辺小
小針ミサオ	〃	郡山六中
上田裕之	〃	蓬田中
甲賀豊久	〃	野木沢小
小川イク子	〃	浅川中
大塚義輝	〃	東白山祭中
小児玲子	〃	浅川中
秦治央	〃	蓬田中
大木京子	〃	須釜中
榊枝暉夫	〃	浅川中
伊藤悦子	〃	泉中

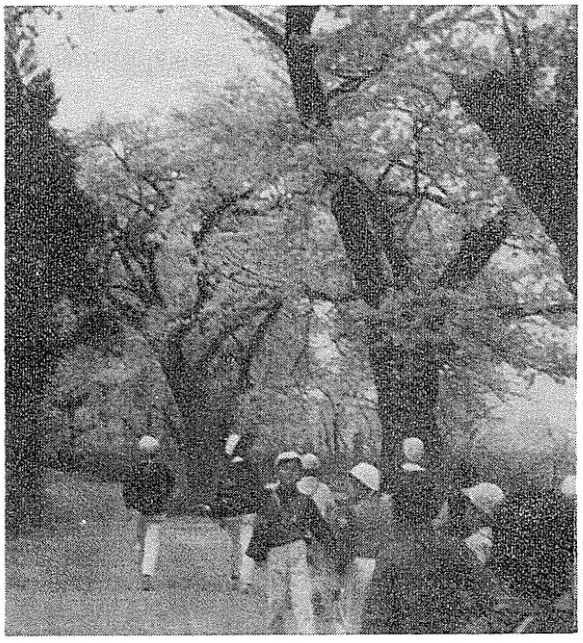
泉郷警察官駐在所

新任　藤井末信
転任　都倉悦男
田島警察署へ

転任

白岩昌門　〃
加藤ハルヨ　〃
星　〃
添田義一　〃
古川睦子　〃
吉沢久美子　〃
桑原和夫　〃
浅川小　〃
野木沢小　〃
小野寛次郎　〃
大竹豊紀　〃
石沢一枝　〃
森喜和子　〃
須釜小　〃
蓬田小　〃
藤田慧子　〃
小針孝一　〃
添田勝夫　〃
江田健一　〃
小針ミサオ　〃
上田裕之　〃
甲賀豊久　〃
小川イク子　〃
大塚義輝　〃
小児玲子　〃
秦治央　〃
大木京子　〃
榊枝暉夫　〃
浅川　〃
伊藤悦子　〃

サクラらんまん



認証の知らせについて

昭和四十年度に国土調査事業を実施した、次の字名については去る三月十日付福島県指令第三五一号にて認証となったので同月十一日に福島地方法務局石川出張所（登記所）に送付したため同日以後の登記簿は国土調査による地積となりますから登記申請の場合は注意されるようお知らせします。

大字南須釜の一部

中奥平、堂ノ内、西ケ作、高屋敷、竹ノ内、松畑、蟹沢、兎田、中窪、作田、荻ノ田、長内、行人塚

大字北須釜の一部

池ノ作、小泉、宝司頭、東ノ内、総与内中ノ内、仏供田、中屋敷、車田、山田、雀森、宮田、東関、桜窪、竹ノ花、追分吹上、堅木石、森殿堀ノ内、来身田、三蔵、近舘石

大字吉の一部

神戸、山ノ神、上ノ入、池ノ上、荒田、上ノ前、杉内、中下畑中、宮作、境田、宮ノ前

計　四八字

簡易保険積立金
―1,200万円融資―

昭和四十三年度四十四年度の二ケ年計画で着工した玉川村立玉川第一小学校校舎も、その第一期工事が完成いたしました。総事業費五千三百万円のうち一千二百二十万円は、皆さんが郵便局と契約されている簡易保険積立金の還元融資を受けております。現在までにも村営住宅中学校増築等融資を受けていますが、皆様の日常の郵便局への協力が新しい村づくりに貢献するわけでありますから、今后とも一層の御協力をお願い申上げます。

玉川村
川辺郵便局

国保被保険者証の更新はおすみですか

三月下旬に国保の被保険者証の更新事務を行ないましたが、未だ新らしい被保険者証と切り替えていない世帯が大分ありますので、至急役場にて更新されますようお願いいたします。尚、旧被保険者証は、三月三十一日で有効期限が切れ四月一日からは使用出来なくなっておりますことを申添えます。

新しい農業への願い

佐久間倉吉

私は農業に従事してから二年と云う歳月が過ぎ去ろうとしております。

民主々義思想の一つに職業の自由と云うのがあります。つまり自分にあった、自分の好きな職業を選べるわけであります。

私達は本当に農業が好きで農業を選んだのだろうか。皆さんこんな事を考えた事があるでしょうか。封建的、重労働、嫁不足、低所得その他さまざまな悪口を云われている農業へ自分から飛び込んで厚いかべを破って進もうとする者が若い農業者の中にはたしてどの位いるでしょうか、そう云う私も例外ではありませんでした。

そんな私が4Hクラブや青年団といった、サークル活動によって私は変ったのです。若者同志が集会などに行くことによって俺達がやらなければ、だれがやっていくのかと考えるようになってきたのです。

そこで吾が岩法寺と云う部落を見ても何等変っていない、機械は入っている事は入っているが、農業経営は少しもらくにはなっていないと思います。農業の進捗割合を他産業とくらべて見るに相当な格差のある事が立証されております。もっと高度な土地利用を計ってゆかなければ、他産業におくれを取るだろうと思います。

米価値上げとさわがれて米価が不安になって来た。農業の曲り角とさわがれてきた大きな曲り角が、米価に出ているのではないでしょうか。まず、茲で考えなければならない事は、水稲にかわる他の作目を経営に取り入れて所得の拡大を図らなければならないと思います。

茲で先にあげたように低い所得、重労働と云った事と相俟って、方向をかえる最もよいチャンスではないでしょうか。まず、家族と相談して若い者の意見を充分取り入れて、今迄より計画性のある農業を営んでいくならば嫁不足、封建制といった事の問題点が解消すると思います。

米価が不安になって私はよいのだと思う、なぜならば、こうしたカベがない限り昔と何等変りない農業経営を困った困ったと、只惰性でやってゆくにちがいない。この時期が早ければ早い程農業は現在より何等かの形で、進歩していたと思います。

吾が岩法寺を考えれば、立地条件が悪い事は部落民だれもが周知の通りであります。山間地を利用した高度な土地利用をしてゆかなければ、他地区より遅れを出すのは目に見えております。失敗を気にしていては、何事も出来ないにきまっているのではないでしょうか。

たとえば川の水の流れにしても、海に早く行くには岩に当らなければならない。技術がないと思っていては何事も出来ないと思います。まず、最初に取り組む事が最も大きい技術ではないだろうか、大きい技術を持ってまず計画を立てる事が大切である。

まず第一に基盤整備をする事、それには部落民全部で協力しあってなり立つのではないか。又岩法寺には畜産など合っているのではないでしょうか、山を利用し放牧をする事は代々同じである放牧地を只遊ばせては駄目だと思う。その土地には栗、くるみ、銀なんと云った労力のかゝらない果樹組み合せをする事高度利用の一つに入るのではないかと思う。

もう一つは花卉栽培で、小面積で四季を通じてやってゆける温室栽培もあります。つくる事はつくれるのですが、販売に困っていた訳ですが、疑問点であった販売も見透しが明るくなろうとしている現今です。それは数年後には東北縦貫道路又東北新幹線が出来るにしたがって、東京方面はもとより、他県への輸送の短縮と云った利点が産み出されるのです。東北新幹線、縦貫道路が出来るにつれ、郡山～須賀川等に企業の進出が増大し、伴って人口が増える事等が思考されます。そこで本村は都市近郊になるのは目に見えて居ります。

人間の生活水準があがるにつれて花が多く売れるのは工場、会社で働いていて自然の物にふれる機会が少ないので家にいる時心のやすらぎのための生花等今後大いに伸びるのではないかと思います。東北には花卉栽培をして居るところは少ないので、良いのではないかと思えます。私が親になった時はきっと息子に嫌がられないような農業経営を確立したいと私は思います。

それにこれからの農業、新しい農業を経営して行く上に系数的或るいは先を読んだ農業を営んでいかなければならないと思います。

自動車事故にあったら

近ごろ、自動車事故が非常に多くなり走る兇器とか交通戦争などといわれ毎日のように尊い生命が奪われています。

このような自動車事故は被害者にとっても加害者にとっても大きな問題を背負うことになり、両者にとってこれ程悲惨なものはありませんので、お互に注意をして事故をなくしたいものです。

万一事故にあったときは、まず医者の手当を受けることが先決ですが、次のことを怠ると、あとで困ることになります。

1相手を確かめること（免許証、車検証で加害者の名前、車の番号、色、型、名称持主、会社名など）

2必らず警察に届けること。

3目撃者をさがすこと

4役場の国民健康保険係に届けること。

これだけは必らず実行しましょう

けがの治療については、加害者が治療費を全額支払うのがたてまいですが、事情があって加害者が支払に困るようなときは国保を使って診療を受けることができます。このようなときには「第三者の行為による傷病届」を必らず国保係に提出しなければなりません。

この場合は国保が医療費を一時立て替えるわけでこの費用はあとで加害者または被害者（示談が成立して医療費が支払われている場合は被害者）から返してもらうことになりますので、もし事故があったときは国保係に連絡してください。

四国の旅

溝井一郎

松山の山肌あらわ埠頭よりは田舎の
如き家並揃えり
道後温泉に走るバスの窓よりは松山
市街ついに見当らず
象頭山金比羅宮の雑踏にまぎれて投
ぐる賽銭の音
乗船の終るたちまちドラ鳴らす連絡
船のにぶきかたむき
ドラ鳴らしかたむく船と思ひしに早
や遠ざかる片側の街

旅

関根栖泉

旅の夜の春の暖炉に更くるなり
出荷終ふ温室にまぎれし蝶のあり
日の満ちて萠ゆる蓬や熔岩の道
春浅し旅の朝湯の凡夫婦
園の芝みづのりそめし軽くふむ
石工の黙々として彼岸雪
春待ちて農機手入や土間広し
芦の芽や疾風のみだす池濁り

確定申告がまちがっていたときは

一、確定申告をした少なく納めていたようなあとで、所得や税額の場合は、修正申告で計算をまちがえ税金を訂正することができます。修正申告は税務署から更正の通知があるまではいつでもすることができますが、なるべく早く申告した方が有利です。

二、反対にまちがえて税金を納め過ぎていたような場合には、申告期限から二ヶ月以内に「更正の請求」をして正しい税額になおし納め過ぎの税金を還付してもらうことができます。

お誕生おめでとうございます

（三月分の出生届書から）

部落	出生児氏名	世帯主名	続柄
川辺	田子春美	又四郎	孫
〃	矢吹賢治	キミヨ	〃
〃	吉田光子	寿光	長女
小高	添田貴子	和幸二	女
〃	須釜まり子	義男	長女
〃	矢吹カツ子	明	孫
岩法寺	吉田いみ子	常吉	〃
南須釜	大越和夫	力夫	〃
〃	大野勇	清三郎	〃
〃	大野みどり	寅治	〃

ご逝去お悔み申し上げます

（三月分の死亡届書から）

部落	死亡者氏名	世帯主名	続柄
川辺	大和田重蔵	重正	父
蒜生	曲山永治	義光	〃
小高	関根竹松	要治	〃
〃	関根忠治	誠	〃
〃	添田祐次	主	祐一の父
〃	溝井豊	〃	鉄弥の父
竜崎	佐藤儀重	庄平	父
〃	小林政一	要右衛門	〃
〃	鈴木キイ吉	典祖	母

納税標語

玉川第一小六年　小林晴一
納税がぼくらの村をささえている

須釜小五年　大野美恵子
納税で明るい家庭や国作り

泉中三年　添田昇
価値ある納税豊かな郷土

須釜中一年　増子幸子
税金は郷土の柱だみんなで支えよ

奥野さんが再び戦傷病者相談員に

戦傷病者特別援護法にもとづく戦傷病者相談員制度が昭和四十年十月一日より設置されその相談員として奥野義章さんが委嘱され相談業務に応じておりましたところ、去る十月一日任期満了に伴ない再び石川管内の相談員として委嘱され向後三年間業務に携ることになりました。戦傷病に起因するもので未だに援護法に該当しない様な方でも年とともに法律の改正に伴ない戦傷病者として該当する者もあるかもわかりません。どんなことでも相談を受けてください。

担当地区名　石川管内相談員住所氏名

石川郡玉川村大字岩法寺字方丈一〇四

奥野義章

新入学児童を交通事故から守りましょう

先月の日誌より　三月

役場	報告会
三・四 農家労働力対策事業調査会議	三・三 村内小学校卒業式
三・七 選挙管理委員会	三・三五 須釜中家庭教育学級閉講式
三・八 保健婦補助員会議	三・二六 教育委員会
三・一〇～一五 第一回定例村議会	三・二七 体育指導員研修会
三・一一 選挙事務実態調査	三・三 青年学級閉講式
三・一〇 農業委員会	
三・一四 議会協議会	
〃 区長会	
三・一五 消防幹部会	
三・一六 経済土木委員会	
三・一六～一七 納税組合長会	
三・一八 選挙管理委員会	
三・三一 文教厚生委員会	

教育委員会	公民館
三・二 公民館結婚式	
三・一五 村内中学校卒業式	
三・一九 泉中家庭教育学級閉講式	
三・二〇 県外派遣生実践	

編集後記

四月は、生物は冬眠からめざめ、人々は入学就職、諸官庁は人事の異動と、人も自然もあわただしさの中にも希望にあふれた月であります。反面人々は花やダンゴにさそわれ心うきうきとうかれる季節でもあり、交通事故、火災、空巣等の災害にあう事が多いので充分注意いたしましょう。